

25 愛防第 78 号  
平成 25 年 10 月 9 日

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

発生予察情報について（送付）

病害虫発生予察注意報（第 1 号）を下記のとおり発表したので送付いたします。

平成 25 年度 病害虫発生予察注意報（第 1 号）

平成 25 年 10 月 9 日

愛 媛 県

病害虫名 果樹カメムシ類  
（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）  
対象作物 かんきつ、かき等

1 発生地域 県下全域

2 発生程度 多

3 注意報発表の根拠

- (1) 集合フェロモントラップにおける誘殺数は増加しており、調査地点の 5 か所中 3 か所で平年値を超えている（図 1）。
- (2) 気象に関する 1 か月予報（9 月 27 日発表）では気温は高く、降水量は平年並とされていることから、本虫の園地への飛来量は今後も増加するものと予想される。
- (3) かんきつ、かきにおいて、落果等被害の発生園地数が増加傾向にあることを確認している。

4 防除上の注意

- (1) カメムシ類の飛来時期、飛来量は地域、園地により異なるため、園内を見回り早期発見に努める。園内に飛来した成虫は集合フェロモンを放出し、同種の成虫をおびき寄せるため、飛来初期の防除が重要である。
- (2) 園地への飛来は、曇天で夜温があまり下がらない日に多くなる。
- (3) 主に山林から飛来するため、被害は山林に近い園地で早く発生し、飛来量が多くなる傾向にある。
- (4) 園地で飛来を確認した場合には薬剤防除を行う。飛来は日没 30 分後～3 時間後に多くなるので防除は夕方の実施が効果的である。
- (5) 薬剤は登録内容に応じて使用する（表 1）。防除に当たっては、農薬使用基準（収穫前日数、使用回数等）を遵守し、風向き、薬液の散布圧等に注意し、周辺作物への飛散防止、周辺環境（魚・蚕・ミツバチなど）への配慮を徹底する。
- (6) 飛来が続く場合は継続的な防除が必要であるが、ハダニ類においては薬剤の影響によるリサージェンスが起こる可能性があるため、散布後の発生には十分注意する。

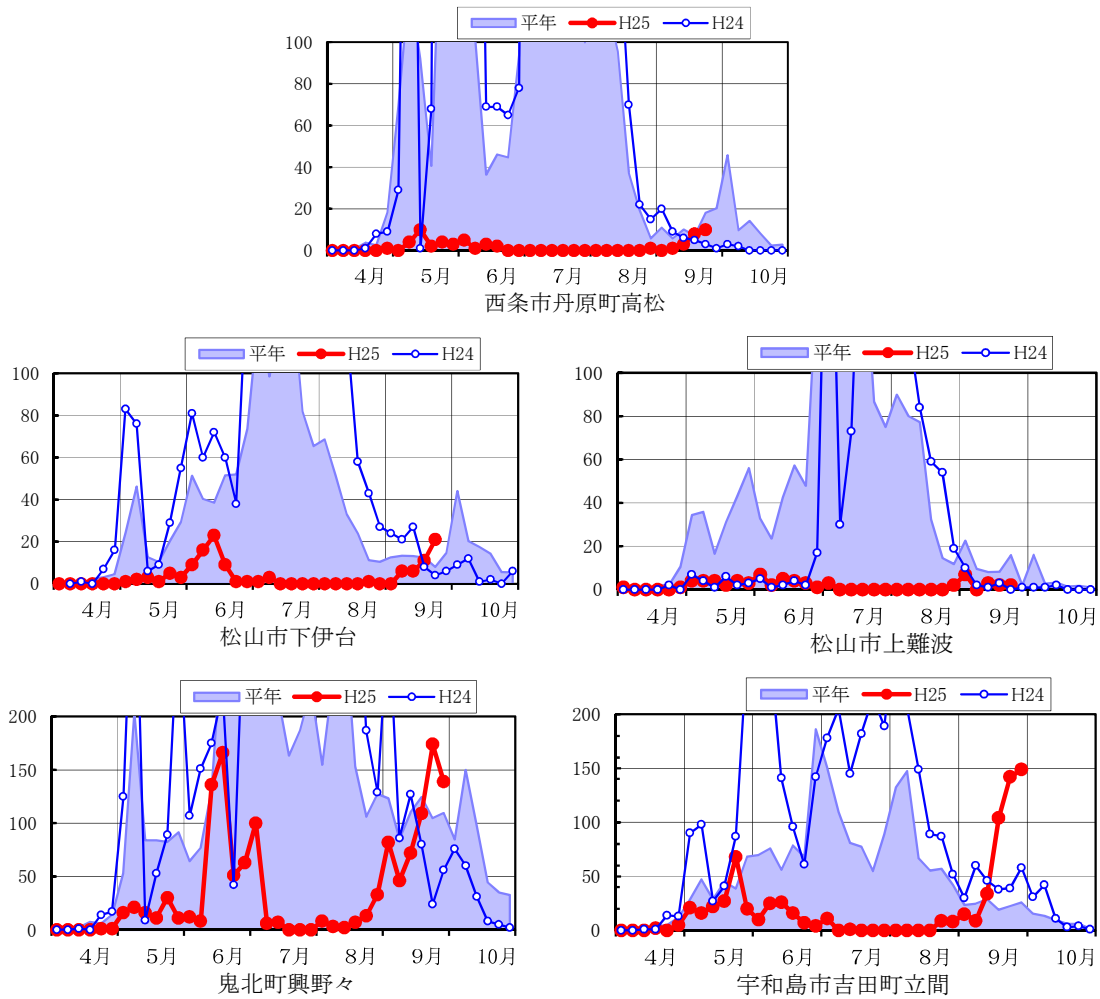


図1 各地の集合フェロモントラップにおける果樹カメムシ類の半月当たりの誘殺数(頭)  
 調査対象種:チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ。  
 H25年は9月第5半月あるいは第6半月までの誘殺数。

表1 果樹カメムシ類に対する主な防除薬剤

作物名	注1) 系統名	薬剤名	濃度	毒性		使用時期	使用回数	防除効果 注2)		
				人毒	魚毒			注3) 接触効果	注4) 残効性	
かんきつ	ネオニコ	アドマイヤーフロアブル	2,000	劇物	A	収穫14日前まで	3回以内	B	A	
		ダントツ水溶剤	4,000	普通	A	収穫7日前まで	3回以内	B	A	
		アクトラ顆粒水溶剤	2,000	普通	A	収穫14日前まで	3回以内	B	A	
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	普通	A	収穫前日まで	3回以内	B	A	
		モスピラン水溶剤	2,000	劇物	A	収穫14日前まで	3回以内	B	A	
		モスピラン顆粒水溶剤	2,000	劇物	A	収穫14日前まで	3回以内	B	A	
		モスピランSL液剤	2,000	劇物	A	収穫14日前まで	3回以内	B	A	
		合ピレ	MR、ジョーカー水和剤	2,000	普通	A	収穫14日前まで	2回以内	A	A
			ロディー乳剤	2,000	劇物	C	収穫7日前まで	4回以内	A	B
			テルスター水和剤	2,000	普通	C	収穫前日まで	3回以内	A	A
テルスターフロアブル	3,000		劇物	C	収穫前日まで	3回以内	A	A		
かき	ネオニコ	アドマイヤー水和剤	1,000	劇物	A	収穫7日前まで	3回以内	B	A	
		アドマイヤー顆粒水和剤	5,000	劇物	A	収穫7日前まで	3回以内	B	B	
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	普通	A	収穫前日まで	3回以内	B	A	
		アクトラ顆粒水溶剤	2,000	普通	A	収穫3日前まで	3回以内	B	A	
		モスピラン水溶剤	2,000	劇物	A	収穫前日まで	3回以内	B	A	
		モスピラン顆粒水溶剤	2,000	劇物	A	収穫前日まで	3回以内	B	A	
		ダントツ水溶剤	4,000	普通	A	収穫7日前まで	3回以内	B	A	
		合ピレ	MR、ジョーカー水和剤	2,000	普通	A	収穫14日前まで	2回以内	A	A
			アグロスリン水和剤	2,000	劇物	C	収穫前日まで	3回以内	A	B
			テルスター水和剤	1,000	普通	C	収穫14日前まで	2回以内	A	A
テルスターフロアブル	3,000		劇物	C	収穫3日前まで	2回以内	A	A		
他	-	ロディー水和剤	1,500	劇物	C	収穫7日前まで	3回以内	A	B	
		キラップフロアブル	2,000	普通	A	収穫7日前まで	2回以内	-	-	

注1) ネオニコ:ネオニコチノイド系、合ピレ:合成ピレスロイド系、他:その他

注2) 「接触効果」「残効性」のデータは、主に「果樹カメムシ おもしろ生態とかしい防ぎ方」(堤, 2003)を参考にした。

注3) A: 散布1日後の死虫率がほぼ100%、B: 散布1日後に生存虫がある、-: 試験例なし

注4) A: 5日以上、B: 3日以上、C: 1日以下、-: 試験例なし

\* 農薬を使用する場合には、最新の登録内容を確認してください。